

(6)基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-1) 児童虐待防止対策の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	養育支援訪問事業	拡充		A	「こんにちは赤ちゃん事業」や関係機関等からの情報収集等により把握した養育支援が必要であると認めた家庭に対し、育児・家事の援助又は育児支援に関する技術的援助を専門の相談員等が訪問により実施する。	H22 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 10件 延べ訪問件数 23件 H23 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 12件 延べ訪問件数 17件 H24 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 8件 延べ訪問件数 14件 H25 ケース報告会議 8回 訪問ケース数 11件 延べ訪問件数 12件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 — — 計 0 0	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
2	家庭児童相談	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 6,094件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件 H25 相談件数 6,094件	H22 A 4,961 4,948 H23 A 7,307 7,330 H24 A 9,687 9,459 H25 A 9,888 9,740 H26 9,736 計 41,579 31,477	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
3	要保護児童対策地域協議会	拡充		A	要保護児童等の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した。 代表者会議 1回 実務者会議 7回 個別ケース会議 62回	H22 代表者会議 1回 実務者会議 9回 H23 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回 H24 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回 H25 代表者会議 1回 実務者会議 7回 個別ケース会議 62回 (H25年度より随時開催も計上)	H22 A 570 449 H23 A 670 403 H24 A 631 363 H25 A 610 528 H26 515 計 2,996 1,743	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
4	ふれあい親子支援事業	継続		A	コアラの会(育児不安が強く、支援が必要な保護者のグループミーティング)を開催し、育児不安の解消に努めた。	コアラの会 H22: 12回 延53組 H23: 12回 延55組 H24: 11回 延54組 H24: 12回 延41組	H22 A 288 288 H23 A 288 286 H24 A 290 253 H25 A 290 286 H26 290 計 1,446 1,113	健康づくり支援課			
5	保健師による訪問指導	拡充		A	児童虐待予防のため、訪問による支援が必要な母子に対し、保健婦等による訪問指導を実施した。また、要支援者への関わりの学びを深めるため、講師を招いての事例検討会を実施した。	延訪問件数 H22: 延435件 H23: 延586件 H24: 延590件 H25: 延547件	H22 A 60 60 H23 A 60 60 H24 A 60 60 H25 A 60 60 H26 60 計 300 240	健康づくり支援課			

6	こんにちは赤ちゃん事業	新規	訪問率(産婦・新生児訪問指導を含む) 100%	A	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援と情報提供を行った。	H22: 2,395件訪問 82.6% H23: 2,429件訪問 84.7% H24: 2,367件訪問 80.5% H25: 2,341件訪問 79.3%	H22 A 11,111 9,758 H23 A 10,821 10,000 H24 A 10,821 10,023 H25 A 10,821 10,000 H26 10,821 計 54,395 39,781	健康づくり支援課
7	周産期からの虐待予防強化事業	新規		A	高度専門医療機関と連携し、周産期の段階から支援が必要とされる家庭を積極的に把握し、訪問等を行い支援し、早期に育児不安の解消を図った。	情報提供件数 H22: 67件 H23: 72件 H24: 117件 H25: 54件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 — — 計 0 0	健康づくり支援課

【網掛】 重点施策

【進捗状況】 A: 順調 B: やや遅れている C: 遅れている D: 当該年度予定なし E: 終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位: 千円)				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	ひとり親家庭相談	拡充		A	母子自立支援員がひとり親家庭の親などの様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じた。 母子家庭相談 7,086件 父子家庭相談 108件	H22 母子家庭相談 6,075件 父子家庭相談 53件 H23 母子家庭相談 7,067件 父子家庭相談 121件 H24 母子家庭相談 8,220件 父子家庭相談 119件 H25 母子家庭相談 7,086件 父子家庭相談 108件	H22 A 6,894 6,894 H23 A 6,872 6,852 H24 A 6,873 6,849 H25 A 6,871 6,254 H26 6,822 計 34,332 26,849	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)			
2	母子家庭等日常生活支援事業	拡充		A	ひとり親家庭の母や父が、出産、けがなどに伴い、一時的に生活困難になった家庭に対して、支援員を派遣する事業があるが、平成25年度は利用者がいなかった。 派遣世帯 0世帯	H22 派遣世帯 1世帯(延べ7時間) H23 派遣世帯 7世帯(延べ73時間) H24 派遣世帯 4世帯(延べ38時間) H25 派遣世帯 0世帯	H22 A 125 11 H23 A 92 112 H24 A 92 59 H25 A 92 0 H26 92 計 493 182	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)			
3	母子寡婦福祉資金	継続		A	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立を図り、併せてその児童の福祉の推進を図るため、必要な資金を貸し付けた。 母子 174件 88,018,000円 寡婦 3件 1,204,000円 また、貸し付けた資金の償還も行った。	H22 母子 162件 82,961,500円 寡婦 1件 636,000円 H23 母子 165件 83,251,000円 寡婦 2件 1,368,000円 H24 母子 170件 85,064,000円 寡婦 2件 1,188,000円 H25 母子 174件 88,018,000円 寡婦 3件 1,204,000円	H22 A 89,000 83,873 H23 A 84,000 84,820 H24 A 100,400 86,467 H25 A 92,100 89,794 H26 91,800 計 457,300 344,954	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)			
4	児童扶養手当	継続		A	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、当該児童を養育している者に児童扶養手当を支給した。 総支給額 1,098,695,300円 受給資格者 2,900人(H25年度末現在)	H22: 総支給額 1,013,786,506円 受給資格者 2,683人(年度末) H23: 総支給額 1,072,923,661円 受給資格者 2,823人(年度末) H24: 総支給額 1,096,816,300円 受給資格者 2,869人(年度末) H25: 総支給額 1,098,695,300円 受給資格者 2,900人(年度末)	H22 A 1,013,787 1,013,787 H23 A 1,084,969 1,072,924 H24 A 1,124,478 1,096,817 H25 A 1,140,000 1,098,695 H26 1,150,000 計 5,513,234 4,282,223	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)			

5	川越市遺児手当	継続		A	遺児の健全な育成を図るため、当該遺児の保護者に遺児手当を支給した。 総支給額 1,453,500円 受給資格者 14人(H25年度末現在)	H22: 総支給額 2,516,000円 受給資格者 17人(年度末) H23: 総支給額 2,269,500円 受給資格者 18人(年度末) H24: 総支給額 1,904,000円 受給資格者 15人(年度末) H25: 総支給額 1,453,500円 受給資格者 14人(年度末)	H22 A 2,856 2,516 H23 A 2,856 2,270 H24 A 2,652 1,904 H25 A 2,346 1,454 H26 1,581 計 12,291 8,144	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
6	母子生活支援施設	継続		A	母子家庭又はそれに準ずる事情の家庭で、その監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子ともに入所させ、保護、指導を行うとともに自立を支援した。 また、退所した母子の生活状況の把握と生活安定のための支援に努めた。 16世帯(人数 40人)	入所世帯数 H22 70世帯(人数225人) H23 32世帯(人数129人) H24 19世帯(人数74人) H25 16世帯(人数40人)	H22 A 7,288 4,947 H23 A 4,045 3,833 H24 A 4,166 3,378 H25 A 4,618 3,433 H26 4,407 計 24,524 15,591	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
7	ひとり親家庭等医療費	継続		A	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給した。 支給件数 23,330件 支給額 61,834,209円	支給件数 H17 15,828件 H18 19,162件 H19 21,649件 H20 23,567件 H21 25,242件 H22 25,077件 H23 24,518件 H24 25,513件 H25 23,330件	H22 A 68,151 65,537 H23 A 70,131 63,890 H24 A 69,595 67,590 H25 A 74,143 62,763 H26 55,656 計 337,676 259,780	こども政策課 (H24年度まで:医療助成課)
8	母子家庭等就業・自立支援センター事業	新規	延べ利用者数 300人/年	A	託児付きの就労支援セミナーやパソコン講座を開催することにより、就労面から母子家庭等の自立を支援した。また、併せて就労に関する相談を受け付けた。 セミナー 4人 パソコン講座 16人 就労相談 236人	セミナー パソコン講座 就労相談 H22 13人 24人 323人 H23 8人 23人 319人 H24 15人 22人 287人 H25 4人 16人 236人	H22 A 196 165 H23 A 213 123 H24 A 140 83 H25 A 175 149 H26 113 計 837 520	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
9	ひとり親家庭生活支援事業	新規	延べ利用者数 80人/年	A	母子家庭の母などの情報交換の場であるシングルマザー交流会を開催した。 全3回 延べ47人(母子)	H22 4回 延べ65人 H23 3回 延べ33人 H24 4回 延べ47人 H25 3回 延べ47人	H22 A 223 168 H23 A 231 118 H24 A 167 148 H25 A 180 139 H26 150 計 951 573	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
10	母子家庭等自立支援給付金事業	新規		A	主体的に資格取得等を目指すひとり親家庭の母及び父を対象に給付金を支給した。 高等技能訓練促進費 22件(延べ260月) 入学支援修了一時金 8件 自立支援教育訓練給付金 1件	H22 高等技能:20件(延べ236月) 教育訓練:4件 H23 高等技能:29件(延べ317月) 入学支援修了一時金:7件 教育訓練:4件 H24 高等技能:28件(延べ311月) 入学支援修了一時金:10件 H25 高等技能:22件(延べ260月) 入学支援修了一時金:8件 教育訓練:1件	H22 A 31,191 30,675 H23 A 58,849 41,288 H24 A 52,108 37,329 H25 A 33,449 28,303 H26 25,105 計 200,702 137,595	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

11	母子自立支援プログラム策定事業	新規	プログラム策定件数 40件/年	A	児童扶養手当受給者を対象に、自立を促進するための自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を行った。 プログラム策定件数 24件	H22 プログラム策定件数 39件 H23 プログラム策定件数 40件 H24 プログラム策定件数 15件 H25 プログラム策定件数 24件	H22 A 1,152 1,136 H23 A 1,152 1,168 H24 A 1,152 1,152 H25 A 1,152 1,144 H26 1,152 計 5,760 4,600	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
12	女性のための相談事業	継続	相談日数 100日/年	A	DV、女性の抱えるさまざまな問題、性別による差別的扱い等に関する相談に対し、問題を解決するための助言、関係機関の紹介等を行った。	H22 カウンセリングルーム 67件 女性相談 256件 H23 カウンセリングルーム 65件 女性相談 341件 H24 カウンセリングルーム 73件 女性相談 392件 H25 カウンセリングルーム 74件 女性相談 424件	H22 A 2,275 2,373 H23 A 2,796 2,658 H24 A 2,834 2,546 H25 A 2,834 2,674 H26 2,705 計 13,444 10,251	男女共同参画課
13	川越市父子家庭貸付事業	新規		A	父子家庭の父の経済的自立を図り、併せてその児童の福祉の増進を図るため、必要な資金を貸し付けた。 4件 1,740,000円	H22 2件 222,000円 H23 3件 1,448,000円 H24 4件 1,432,000円 H25 4件 1,740,000円	H22 A 3,035 251 H23 A 3,021 1,454 H24 A 1,813 1,438 H25 A 1,809 1,746 H26 2,560 計 12,238 4,889	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

6-(3) 障害児施策の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	生活サポート事業	継続		A	対象者数 116人	対象者数 平成22年度 104人 平成23年度 105人 平成24年度 114人 平成25年度 116人	H22 A 6,189 6,189 H23 A 7,467 6,695 H24 A 5,869 6,380 H25 A 7,245 5,470 H26 6,605 計 33,375 24,734	障害者福祉課			
2	緊急一時保護事業	継続		A	保護件数 112件 実利用人数 22人	H22 保護件数 216件 実利用人数 34人 H23 保護件数 160件 実利用人数 31人 H24 保護件数 114件 実利用人数 26人 H25 保護件数 112件 実利用人数 22人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 A - - H26 - - 計 0 0	障害者福祉課			

3	障害のある子どもへの補装具等の交付	継続	A	<p>購入 207件 26,090,462円 修理 89件 2,299,793円</p>	<p>H22 購入 212件 23,704,118円 修理 94件 2,067,103円 H23 購入 181件 22,349,067円 修理 87件 2,932,628円 H24 購入 293件 40,703,197円 修理 107件 3,409,292円 H25 購入 207件 26,090,462円 修理 89件 2,299,793円</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>30,822</td><td>25,771</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>23,904</td><td>25,282</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>26,677</td><td>44,112</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>35,820</td><td>28,390</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>29,465</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>146,688</td><td>123,555</td></tr> </table>	H22	A	30,822	25,771	H23	A	23,904	25,282	H24	A	26,677	44,112	H25	A	35,820	28,390	H26		29,465		計		146,688	123,555	障害者福祉課
H22	A	30,822	25,771																												
H23	A	23,904	25,282																												
H24	A	26,677	44,112																												
H25	A	35,820	28,390																												
H26		29,465																													
計		146,688	123,555																												
4	障害のある子どもへの各種手当の支給	継続	A	<p>重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給した。 14,280円×1,178人=16,821,840円(延べ人数) 14,180円×588人=8,337,840円(延べ人数) ※年度途中で単価の変更あり</p>	<p>H22 14,380円×1,679人=24,144,020円 H23 14,380円×287人=4,127,060円 14,330円×1,458人=20,893,140円 H24 14,330円×296人=4,241,680円 14,280円×1,495人=21,348,600円 H25 14,280円×1,178人=16,821,840円 14,180円×588人=8,337,840円 ※延べ人数</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>24,158</td><td>24,144</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>25,884</td><td>25,020</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>25,794</td><td>25,590</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>26,561</td><td>25,160</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>25,524</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>127,921</td><td>99,914</td></tr> </table>	H22	A	24,158	24,144	H23	A	25,884	25,020	H24	A	25,794	25,590	H25	A	26,561	25,160	H26		25,524		計		127,921	99,914	障害者福祉課
				H22	A	24,158	24,144																								
H23	A	25,884	25,020																												
H24	A	25,794	25,590																												
H25	A	26,561	25,160																												
H26		25,524																													
計		127,921	99,914																												
A	<p>児童の心身の健やかな成長に資するため、在宅の障害児を育てている方に特別児童扶養手当を支給した(支給要件有)。 受給者数 449人</p>	<p>H22 受給者数 400人 H23 受給者数 407人 H24 受給者数 435人 H25 受給者数 449人</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>82</td><td>82</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>82</td><td>82</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>82</td><td>82</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>82</td><td>82</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>96</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>424</td><td>328</td></tr> </table>	H22	A	82	82	H23	A	82	82	H24	A	82	82	H25	A	82	82	H26		96		計		424	328	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)			
H22	A	82	82																												
H23	A	82	82																												
H24	A	82	82																												
H25	A	82	82																												
H26		96																													
計		424	328																												
5	障害者相談支援事業	継続	A	相談件数 5,442件	<p>相談件数 H22 5,200件 H23 4,256件 H24 5,034件 H25 5,442件</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>58,600</td><td>58,600</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>58,840</td><td>58,840</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>58,840</td><td>57,160</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>58,840</td><td>58,840</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>58,840</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>293,960</td><td>233,440</td></tr> </table>	H22	A	58,600	58,600	H23	A	58,840	58,840	H24	A	58,840	57,160	H25	A	58,840	58,840	H26		58,840		計		293,960	233,440	障害者福祉課
H22	A	58,600	58,600																												
H23	A	58,840	58,840																												
H24	A	58,840	57,160																												
H25	A	58,840	58,840																												
H26		58,840																													
計		293,960	233,440																												
6	紙おむつ給付事業	継続	A	<p>利用人数176人 延べ人数(年間)1,724人</p>	<p>H22 利用人数 174人(H23.3末) 延べ人数(年間) 2,027人 H23 利用人数 178人(H24.3末) 延べ人数(年間) 2,159人 H24 利用人数 185人(H25.3末) 延べ人数(年間) 1,932人 H25 利用人数 176人(H26.3末) 延べ人数(年間) 1,724人</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>9,023</td><td>9,023</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>9,754</td><td>9,487</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>10,259</td><td>8,373</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>8,906</td><td>8,879</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>9,000</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>46,942</td><td>35,762</td></tr> </table>	H22	A	9,023	9,023	H23	A	9,754	9,487	H24	A	10,259	8,373	H25	A	8,906	8,879	H26		9,000		計		46,942	35,762	障害者福祉課
H22	A	9,023	9,023																												
H23	A	9,754	9,487																												
H24	A	10,259	8,373																												
H25	A	8,906	8,879																												
H26		9,000																													
計		46,942	35,762																												
7	統合保育事業 (5-(2)-3の再掲)	継続	A	<p>障害児及び健常児の成長と発達を促進するため、保育所において統合保育を実施している。</p>	<p>平成22年4月時 73人実施 平成23年4月時 73人実施 平成24年4月時 74人実施 平成25年4月時 77人実施</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>再掲</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	H22	A	再掲	再掲	H23	A	再掲	再掲	H24	A	再掲	再掲	H25	A	再掲	再掲	H26		再掲		計				保育課
H22	A	再掲	再掲																												
H23	A	再掲	再掲																												
H24	A	再掲	再掲																												
H25	A	再掲	再掲																												
H26		再掲																													
計																															

8	グループ指導会	継続	A	家庭児童相談員が、発達に心配のある3歳児を対象に、将来の集団生活に備えて、小グループにおいて親子での遊びを中心とした発達支援を行った。 32回 延べ620人	H22 30回 延べ626人 H23 31回 延べ391人 H24 32回 延べ561人 H25 32回 延べ620人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 — — 計 0 0	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
9	家庭児童相談 (6-(1)-2の再掲)	拡充	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 6,094件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件 H25 相談件数 6,094件	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 再掲 計	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
10	障害のある子どもに対する教職員研修事業	継続	A	障害のある児童生徒への理解と指導力の向上、校内支援体制の整備に向け、研修を実施した。研修の充実により、特別支援教育への理解と指導力の向上が図られた。平成25年度からは、採用3年目の教員を対象に発達障害についての理解を深めるため、特別支援教育指導法研修会として、発達障害の理解と指導法研修会と合同開催した。	特別支援教育コーディネーター養成研修会3回156名参加 就学相談担当者研修会1回 49名参加 発達障害の理解と指導法研修会3回 51名参加 特別支援教育指導法研修会1回 51名参加 特別支援教育支援員研修会1回 109名 特別支援学級・通級指導教室担当者研修会各1回81名 難聴・言語障害研修会1回 21名	H22 A 125 40 H23 A 100 20 H24 A 80 33 H25 A 50 65 H26 75 計 430 158	教育センター (旧 教育研究所)
11	知的障害児通園施設	新規	B	あけぼの児童園において、知的障害のある子供の特性に応じて日常生活及び社会適応のための支援を行った。 通園児童数 37名	H23 32名 H24 28名 H25 37名	H22 B 59,534 56,154 H23 B 59,133 56,853 H24 B 57,929 56,064 H25 B 59,345 51,481 H26 55,981 計 291,322 220,552	保育課
12	肢体不自由児認可通園施設	拡充	B	ひかり児童園等施設整備検討委員会において施設の導入機能及び建設場所等について検討を行った。 実施回数 検討委員会 2回 検討委員会幹事会 3回 検討委員会作業部会 6回	H25 移転候補地の選定	H22 B — — H23 B — — H24 B 1,000 0 H25 B 1,500 0 H26 13,000 計 15,500 0	保育課
13	特別支援教育支援員 (自立支援サポーター)の配置	継続	A	通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒を支援するために、自立支援サポーター33名を年間70日派遣した。	小学校31校、中学校11校からの要請に対し、42校全てに配置し、個別学習指導や一斉学習指導における個別支援や適応指導等を通して、小学校・中学校に適切な支援を行うことができた。	H22 A 6,599 5,619 H23 A 9,863 8,587 H24 A 11,312 11,624 H25 A 10,908 10,791 H26 10,969 計 49,651 36,621	教育センター (旧 教育研究所)
14	特別支援教育支援員 (臨時指導員)の配置	継続	A	介助等を必要とする児童生徒に対して、小学校19校、中学校11校、市立特別支援学校1校に特別支援教育支援員(臨時指導員)85名を配置した。	要請のあった市立小・中・特別支援学校に配置し、児童生徒の学習活動における介助等を実施することで、障害のある児童生徒への教育の充実を図ることができた。	H22 A 109,831 86,951 H23 A 103,624 92,324 H24 A 94,959 82,275 H25 A 101,086 89,300 H26 106,526 計 516,026 350,850	教育センター (旧 教育研究所)

15	ダウン症のある子どもを持つ親の会 (1-(1)-22の再掲)	継続		A	いもっこの会(ダウン症のある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施した。	いもっこの会 H22: 9回 延94人 H23: 11回 延88人 H24: 11回 延96人 H25: 12回 延51人	H22: A 再掲 再掲 H23: A 再掲 再掲 H24: A 再掲 再掲 H25: A 再掲 再掲 H26: 再掲 計	健康づくり支援課
16	すくすくクリニック (1-(1)-24の再掲)	継続		A	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援した。	すくすくクリニック H22: 12回 延65人 H23: 11回 延40人 H24: 10回 延59人 H25: 11回 延43人	H22: A 再掲 再掲 H23: A 再掲 再掲 H24: A 再掲 再掲 H25: A 再掲 再掲 H26: 再掲 計	健康づくり支援課
17	発育・発達クリニック (1-(1)-25の再掲)	拡充		A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に医師による診察・相談を行い、発育発達を支援した。平成24年度から子どもの心の健康相談と統合した。	発育発達クリニック H22: 11回 延71人 H23: 11回 延71人 H24: 23回 延117人 H25: 22回 延107人	H22: A 再掲 再掲 H23: A 再掲 再掲 H24: A 再掲 再掲 H25: A 再掲 再掲 H26: 再掲 計	健康づくり支援課
18	子どものこころの健康相談 (1-(1)-26の再掲)	拡充		E	平成24年度より発育発達クリニックと統合した。こころの健康相談対象者は発育発達クリニックにて支援した。	子どものこころの健康相談 H22: 11回 56人 H23: 11回 48人	H22: A 再掲 再掲 H23: A 再掲 再掲 H24: E 再掲 再掲 H25: E 再掲 再掲 H26: 再掲 計	健康づくり支援課
19	自立支援医療(育成医療)給付 (1-(4)-4の再掲)	継続		A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行った。	受給者 H22: 115人 H23: 108人 H24: 113人 H25: 101人	H22: A 再掲 再掲 H23: A 再掲 再掲 H24: A 再掲 再掲 H25: A 再掲 再掲 H26: 再掲 計	健康づくり支援課
20	小児慢性特定疾患医療給付 (1-(4)-6の再掲)	継続		A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行った。	受給者 H22: 255人 H23: 263人 H24: 267人 H25: 262人	H22: A 再掲 再掲 H23: A 再掲 再掲 H24: A 再掲 再掲 H25: A 再掲 再掲 H26: 再掲 計	健康づくり支援課
21	学童保育事業 (5-(1)-1の再掲)	拡充	学童保育室入室の規定に対して障害児の受け入れは100%入室	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている障害のある児童を、市内32学童保育室で保育した。【49人】 障害児に関わらず、入室の規定に適合していれば100%受け入れられている。	年度当初学童保育室に入室する障害のある児童数 平成20年度 64人 平成21年度 48人 平成22年度 50人 平成23年度 54人 平成24年度 51人 平成25年度 49人	H22: A 再掲 再掲 H23: A 再掲 再掲 H24: A 再掲 再掲 H25: A 再掲 再掲 H26: 再掲 計	教育財務課

(7)基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-1) 良質な住宅・良好な居住環境の確保

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	地域優良賃貸住宅	継続		D	新規供給計画の申請なし	市認定実績なし 市内特優賃戸数(県認定分) 21年度末 159戸 22年度末 131戸 23年度末 120戸 24年度末 114戸 25年度末 114戸	H22	D	2,028	—	建築住宅課
							H23	D	1,014	—	
							H24	D	—	—	
							H25	D	—	—	
							H26		—	—	
							計		3,042	0	
2	公営住宅における優先入居	継続		A	登録方式による入居募集に際し、母子世帯、多子世帯を対象に優遇して登録を行った。	H23(入居は24年度) 【母子世帯の登録数】22世帯 【多子世帯の登録数】1世帯 H24(入居は25年度) 【母子世帯の登録数】23世帯 【多子世帯の登録数】1世帯 H25(入居は26年度) 【母子世帯の登録数】11世帯 【多子世帯の登録数】0世帯	H22	A	—	—	建築住宅課
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25	A	—	—	
							H26		—	—	
							計		0	0	
3	シックハウス対策	継続		A	建築基準法に基づく確認、検査を行った。		H22	A	—	—	建築指導課
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25	A	—	—	
							H26		—	—	
							計		0	0	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(2) 安全な道路交通環境の整備

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課				
							年度	進捗状況	予算額	決算額					
1	歩行空間のバリアフリー化	継続	1,960m	A	歩道付道路を711.3m整備した。	H22 歩道整備延長 306m H23 歩道整備延長1,085m H24 歩道整備延長1,275m H25 歩道整備延長 711.3m	H22	A	基本目標7-(3)-4 で計上		道路街路課 (H24年度まで:道路建設課) ※道路建設課分				
					A	川越駅南大塚線の歩道439mの整備を行った。	H22 歩道整備 17m H24 歩道整備 350m H25 歩道整備 439m	H22				A	基本目標7-(3)-4 で計上		道路街路課 (H24年度まで:街路課) ※街路課分
						A	歩道付き道路の整備を424.9m行った。 (内訳110.060m+54.9m+260.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m H25 歩道整備 L=429.9m				H22			
2	屋外広告物の撤去	継続	A	違反広告物の掲出数そのものが年々減少傾向にあり、市民ボランティアの方々による地域に密着した除却活動の成果が着実に現れている。	H22:合計 8,434個(枚) H23:合計 9,433個(枚) H24:合計 8,374個(枚) H25:はり紙 1,049枚 はり札 6,205枚 立看板 34個 合計 7,288枚(個)		H22	A				1,251	962	都市景観課	
						H23	A	557				557			
H24	A	671	546												
H25	A	449	404												
H26		442													
計		3,370	2,469												
3	生活道路における安全対策	継続	100箇所	A	路面標示等による事故防止対策を実施した。 126箇所 ゾーン30対策事業 2地区	H22 路面標示115箇所 H23 路面標示 23箇所 H24 路面標示 63箇所 ゾーン30対策1地区 H25 路面標示126箇所 ゾーン30対策2地区	H22	A	59,874	54,868	防犯・交通安全課				
							H23	A	51,808	48,254					
							H24	A	50,774	47,913					
							H25	A	78,587	65,231					
							H26		73,682						
							計		314,725	216,266					
4	カーブミラーの整備	継続	80基	A	カーブミラーの新設・修繕を行った。 新設 62基 修繕 223基	H22 新設100基、修繕188基 H23 新設 70基、修繕205基 H24 新設 66基、修繕180基 H25 新設 62基、修繕223基	H22	A	項目3に含まれる		防犯・交通安全課				
							H23	A							
							H24	A							
							H25	A							
							H26								
							計					0	0		

5	交通安全看板	継続	40本	A	警戒標識・注意看板を設置した。 122本	H22 警戒標識・注意看板等 62本 H23 警戒標識・注意看板等 67本 H24 警戒標識・注意看板等 48本 H25 警戒標識・注意看板等 122本	H22 A H23 A H24 A H25 A H26 計	項目3に含まれる	0	0	防犯・交通安全課
6	道路照明灯	継続	3基	C	道路照明灯を新設なし。 新設 0基	H22 新設6基 H23 新設6基 H24 新設4基 H25 新設0基	H22 A H23 A H24 A H25 C H26 計	項目3に含まれる	0	0	防犯・交通安全課
7	信号機	継続		A	信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、市民からの信号機設置要望に対して、現地調査の上、川越警察署へ申し伝えている。	H22 新設3基 改良2基 H23 新設6基 改良1基 H24 新設3基 改良1基 H25 新設2基 改良1基	H22 A H23 A H24 A H25 A H26 計	— — — — — 0	— — — — — 0	防犯・交通安全課	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(3) 安全・安心なまちづくり

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	安全・安心な都市公園の整備	拡充	改修数 年間20箇所	A	市民サービス向上のため、公園の施設改修や新規整備を実施。 実施公園数16公園 その他 ・砂場の浄化 114公園 ・遊具等の保守点検 171公園	H22: 延べ11公園の整備及び改修・補修を実施 H23: 延べ11公園の整備及び改修・補修を実施 H24: 延べ16公園の整備及び改修・補修を実施 H25: 延べ49公園の整備及び改修・補修を実施	H22 B H23 B H24 B H25 A H26 計	89,474 85,900 117,000 118,825 42,000 453,199	88,124 69,600 103,611 116,014 — 377,349	公園整備課	
2	旅客施設、車両等のバリアフリー化	継続	駅施設のバリアフリー化 100% ノンステップバス導入率 100%	A	ノンステップバス導入に対して補助を行った。(8台)	市内12駅(地平駅含む)全てがバリアフリー対応。(平成23年度完了) ノンステップバス導入率86.8%(平成24年度末現在) ノンステップバス導入率88.7%(平成25年度末現在)	H22 A H23 A H24 A H25 A H26 計	96,897 82,264 4,982 7,037 5,818 196,998	12,085 81,267 4,062 4,671 — 102,085	交通政策課	
3	バリアフリー新法に基づく所要の措置	継続		A	建築基準法に基づく確認、検査を行った。		H22 A H23 A H24 A H25 A H26 計	— — — — — 0	— — — — — 0	建築指導課	

4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	1,960m	A	歩道付道路を711.3m整備した。	H22 歩道整備延長 306m H23 歩道整備延長1,085m H24 歩道整備延長1,275m H25 歩道整備延長 711.3m	H22 A 175,200 72,248 H23 A 139,500 20,874 H24 A 334,074 282,925 H25 A 197,200 138,949 H26 176,500 計 0 0	道路街路課 (H24年度まで:道路建設課) ※道路建設課分
				A	川越駅南大塚線の歩道439mの整備を行った。	H22 歩道整備 17m H24 歩道整備 350m H25 歩道整備 439m	H22 A 12,200 11,086 H23 A — — H24 A 91,500 62,174 H25 A 112,630 66,388 H26 81,000 計 297,330 139,648	道路街路課 (H24年度まで:街路課) ※街路課分
				A	歩道付き道路の整備を424.9m行った。 (内訳110.060m+54.9m+260.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m H25 歩道整備 L=424.9m	H22 A 7,896 6,284 H23 A 9,000 8,377 H24 A 13,000 6,172 H25 A 48,700 43,407 H26 70,000 計 148,596 64,240	道路環境整備課
				A	小・中学校トイレ改修工事	H22 福原小及び川越小の体育館耐震補強工事に伴うトイレのバリアフリー化 H24 小仙波庁舎改修工事に伴い、玄関スロープ、トイレの手すり等の設置を行った。 H25 小・中学校のトイレ改修に伴い、手すり等の設置を行った。	H22 A — — H23 D — — H24 A — — H25 A — — H26 — — 計 0 0	建築住宅課
5	本庁舎における、子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	継続		D	新規供給計画の申請なし	平成25年度 未実施	H22 A 1,300 1,280 H23 A 2,584 2,552 H24 D — — H25 D — — H26 D — — 計 3,884 3,832	管財課
6	防犯灯の整備	継続	年間の新設 灯火 350灯	A	防犯灯の新設及び既設の整備を行った。 新設:135灯 修繕:473灯	新設工事 H17:235灯 H18:216灯 H19:223灯 H20:214灯 H21:195灯 H22:162灯 H23:168灯 H24:162灯 H25:135灯	H22 A 46,657 43,581 H23 A 74,935 72,994 H24 A 55,241 55,084 H25 A 60,248 62,184 H26 71,351 計 308,432 233,843	防犯・交通安全課

7	赤ちゃんの駅	新規	50箇所	A	市内の公共施設41カ所を「赤ちゃんの駅」として指定して、授乳及びおむつ替等のスペースを提供した。 また、埼玉県との共催事業として民間施設においても「赤ちゃんの駅」を実施し、川越市内で合計127箇所の施設を登録。 登録施設には標識フラッグ等を掲示し、HPやモバイルサイトのほか、子育て情報誌、川越観光パンフレット、小江戸川越マップ(HP上)に掲載した。	H22	市公共施設40カ所 川越市内105箇所	H22	A	2,615	2,333	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課)
						H23	市公共施設40カ所 川越市内122箇所	H23	A	—	—	
						H24	市公共施設41カ所 川越市内126箇所	H24	A	—	—	
						H25	市公共施設41カ所 川越市内127箇所	H25	A	—	—	
						H26		H26		—	—	
						計		計		2,615	2,333	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(4) 子ども等の交通安全を確保するための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	交通安全教育	拡充	180回 21,000人	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るため実施した。 160回 15,661人	H22年度安全教育177回 参加者17,515人 H23年度安全教育181回 参加者18,687人 H24年度安全教育160回 参加者15,926人 H25年度安全教育160回 参加者15,661人	H22	A	2,040	1,988	防犯・交通安全課
H23	A	2,040	1,892								
H24	A	2,040	1,618								
H25	A	3,990	2,870								
H26		2,887									
計		12,997	8,368								
2	児童の登校時の交通安全確保	継続		A	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施した。 朝の立哨回数 9,364回	H22年度朝の立哨回数 8,860回 H23年度朝の立哨回数 9,241回 H24年度朝の立哨回数 9,265回 H25年度朝の立哨回数 9,364回	H22	A	12,480	10,632	防犯・交通安全課
H23	A	12,240	11,089								
H24	A	11,760	11,118								
H25	A	11,760	11,237								
H26		12,485									
計		60,725	44,076								
3	交通安全推進団体への補助	継続		A	交通安全推進協議会に¥1,290,000・交通安全母の会に¥900,000・川越交通安全協会に¥450,000・交通指導員会に¥45,000を補助した。	交通安全推進協議会129万円・交通安全母の会90万円・川越交通安全協会45万円・交通指導員会4.5万円	H22	A	2,685	2,685	防犯・交通安全課
H23	A	2,685	2,685								
H24	A	2,685	2,685								
H25	A	2,685	2,685								
H26		2,685									
計		13,425	10,740								
4	交通安全運動	継続	年4回 約1,500人参加	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施した。 12回 1,360人	平成22年度の交通運動12回 参加者数 1,050人 平成23年度の交通運動12回 参加者数 1,050人 平成24年度の交通運動12回 参加者数 1,290人 平成25年度の交通運動12回 参加者数 1,360人	H22	A	1,161	413	防犯・交通安全課
H23	A	431	397								
H24	A	660	477								
H25	A	項目1に含む									
H26											
計		2,252	1,287								
5	放置自転車対策	継続	4,000台 撤去	A	子ども、障害者、高齢者等の通行の妨げである駅付近の公道等公共の場所の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発した。 【市内11駅、撤去回数584回、撤去台数3,589台】	H22 市内11駅、撤去回数282回、撤去台数3,632台 H23 市内11駅、撤去回数340回、撤去台数3,389台 H24 市内11駅、撤去回数417回、撤去台数3,666台 H25 市内11駅、撤去回数584回、撤去台数3,589台	H22	A	34,887	32,706	防犯・交通安全課
H23	A	39,406	33,267								
H24	A	37,556	32,029								
H25	A	42,310	37,438								
H26		44,043									
計		198,202	135,440								

6	シートベルト、チャイルドシートの着用促進	継続	A	夏の交通安全キャンペーンの際に積極的に着用促進の啓発を行った。		H22	A	—	—	防犯・交通安全課
						H23	A	—	—	
H24	A	—	—							
H25	A	—	—							
H26		—	—							
計		0	0							
7	安全・安心な通学路の確保	新規	A	路面標示等による通学路の事故防止対策を実施した。 54箇所	H22 路面標示 48箇所 ヒヤリハットマップ 55校 H23 路面標示 48箇所 道路照明灯 5基 H24 路面標示120箇所 H25 路面標示 54箇所	H22	A	10,000	8,625	防犯・交通安全課
						H23	A	10,000	8,860	
						H24	A	20,000	19,831	
						H25	A	15,000	12,989	
						H26		15,000		
						計		70,000	50,305	
			A	歩道付き道路の整備を424.9m行った。 (内訳110.060m+54.9m+260.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m H25 歩道整備 L=424.9m	H22	A	—	—	道路環境整備課
						H23	A	—	—	
						H24	A	—	—	
			H25	A	—	—				
			H26		—	—				
			計		0	0				
A	児童・生徒の通学路については、学校や地域の実情に応じ、交通事故及び不審者等からの児童生徒の安全確保のために、日常点検及び定期点検を実施した。 通学路の点検結果をもとに、登下校時の安全に係る相談や通学路の整備に係る要望がある場合には、他課と連携して、通学路の整備を通して児童・生徒安全の確保に努めた。	H24 通学路点検全校実施 H25 通学路点検全校実施 39/54箇所(対策済み/対策必要箇所)	H22	A	—	—	教育指導課			
			H23	A	—	—				
			H24	A	—	—				
			H25	A	—	—				
			H26		—	—				
			計		0	0				
8	児童等の自転車乗車時のヘルメットの着用	新規	A	小学校で行う交通安全教室で啓発した。 86回 延11,881人	平成22年度 79回 延11,504人 平成23年度 81回 延12,436人 平成24年度 78回 延11,635人 平成25年度 86回 延11,881人	H22	A	—	—	防犯・交通安全課
						H23	A	—	—	
H24	A	—	—							
H25	A	—	—							
H26		—	—							
計		0	0							

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(5) 子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	川越市防犯のまちづくり基本方針に基づく各種施策	継続		A	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚、安全な地域コミュニティの推進強化に努めた。 ・市内の犯罪認知件数:3,896件	市内の犯罪認知件数 H16:9,519件 H17:7,836件 H18:7,226件 H19:6,654件 H20:6,152件 H21:5,807件 H22:5,165件 H23:5,081件 H24:4,241件 H25:3,896件	H22	A	10,150	10,126	防犯・交通安全課
						H23	A	9,935	9,892		
						H24	A	9,599	9,438		
						H25	A	9,692	9,640		
						H26		9,863			
						計		49,239	39,096		
2	防犯推進体制の整備	継続	自主防犯活動を行っている団体数(自治会・PTA) 300団体	A	行政においては庁内関係部署による連絡会議・連携に努め、地域や警察関係との連携方策に取り組んだ。地域においては自治会を中心とした活動や地域防犯推進員等の活動の充実が図れるよう支援するとともに、「地域の安全は地域で守る」という認識に立ち、地域の推進体制整備に努めた。人員確保の問題等からほぼ毎年度同数の団体数となっているのが現状である。 ・自主防犯活動を行っている団体数 304団体	自主防犯活動を行っている団体数 H21:250団体 H22:250団体 H23:250団体 H24:304団体 H25:304団体 (H21~H23は自治会のみ計上) (H24・H25警察発表の数字)	H22	A	—	—	防犯・交通安全課
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25	A	—	—		
						H26		—	—		
						計		0	0		
3	防犯意識の高揚(犯罪情報・防犯情報の収集と提供)	継続	メール配信サービスの登録件数 10,000件	B	随時、犯罪情報を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図ることで、連携の強化と地域における自主防犯活動の促進に努めた。 ・防犯対策情報・犯罪情報・不審者情報をEメールで配信 登録数:8074件	登録状況 H18:5,041件 H19:7,988件 H20:9,187件 H21:9,166件 H22:9,224件 H23:8,941件 H24:8,243件 H25:8,074件	H22	A	2,073	2,073	防犯・交通安全課
						H23	A	2,205	2,205		
						H24	B	2,205	2,205		
						H25	B	2,167	2,167		
						H26		2,229			
						計		10,879	8,650		
4	安全な地域コミュニティの推進	継続	年間の提供団体数 20自治会等	A	地域における自主防犯活動をはじめとした各種活動への参画を促進し、支援することにより、安全な地域コミュニティの推進に努めた。 ・防犯パトロール用資機材等の提供 21自治会(大東地区 強化地域)	防犯パトロール用資機材等の提供 H16:10自治会等(重点地域) H17:51自治会(強化地域) H18:2自治会(強化地域) H19:24自治会(強化地域) H21:5自治会(強化地域) H22:14自治会(強化地域) H23:27自治会(強化地域) H24:1自治会(新設自治会) H25:21自治会(強化地域)	H22	A	724	724	防犯・交通安全課
						H23	A	812	785		
						H24	B	483	356		
						H25	A	678	677		
						H26		1,158			
						計		3,855	2,542		

5	防犯実技研修会	継続	教員54名 スクールガード68名	A	スクールガード養成講習会を11月に実施し、不審者対応の実技講習会を行った。 具体的な護身術の講習を行うことで、防犯意識の啓発と実技の習得を図った。	H24 市内全小学校32校にスクールガードリーダーを配置した。 H25 市内全小学校32校全校配置 研修参加(教員47 SG31 計78名)	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 — — 計 0 0	教育指導課
6	児童虐待防止の啓発活動	継続	1回/年	A	平成25年11月2日(土)に、子育て講演会を実施した。 11月の「児童虐待防止推進月間」にポスター、パネル等の掲示をし啓発を促した。	H22 1回 参加者122名 H23 11月14日 参加者243名 1月28日 参加者425名 H24 1月19日 参加者163名 H25 11月2日 参加者288名	H22 A 138 132 H23 A 592 566 H24 A 167 167 H25 A 396 390 H26 287 計 1,580 1,255	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
7	「子ども110番の家」 (5-(3)-13の再掲)	継続		A	補助金制度の統廃合を図り、「川越市青少年を育てる地区会議子ども110番の家事業運営活動費助成金」を廃止して「川越市青少年を育てる市民会議事業補助金」として事業補助を行う方法に改めた。また、子ども110番の家看板の市内統一を図るため、平成25年度及び26年度の2箇年計画で看板の作製、交換を行い、25年度分は計画どおり達成している。さらに地域・学校・PTAにおける子ども110番の家協力者名簿の共有化を図り、子どもたちが安全に生活する環境の整備に努めた。	H22~24 川越市青少年を育てる地区会議子ども110番の家事業運営活動費助成金 H25 川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 114,404円 子ども110番の家看板作製費用 640,500円	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 再掲 計	こども育成課 (H24年度まで:青少年課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(6) 被害に遭った子どもの支援の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成25年度末 進捗状況	平成25年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	犯罪被害者支援推進協議会への補助	継続		A	被害者への支援として、市・警察・関係機関(協議会会員)への適切な引継ぎや被害者支援推進のための広報啓発に努めた。	川越市犯罪被害者支援推進協議会への助成 H17~H21年度1,440千円 H22年度~各年度243千円	H22 A 243 243 H23 A 243 243 H24 A 243 243 H25 A 243 243 H26 243 計 1,215 972	防犯・交通安全課			
2	家庭児童相談 (6-(1)-2の再掲)	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 6,094件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件 H25 相談件数 6,094件	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 再掲 計	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
3	要保護児童対策地域協議会 (6-(1)-3の再掲)	拡充		A	要保護児童等の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した。 代表者会議 1回 実務者会議 7回 個別ケース会議 62回	H23 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回 H24 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回 H25 代表者会議 1回 実務者会議 7回 個別ケース会議 62回 (H25年度より随時開催も計上)	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 再掲 計	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			